

悲願の全国制覇

3月に開催された「第16回全国中学生空手道選抜大会2年女子形の部」に常葉大学付属菊川中学校3年の高塚彩夏さん（白浜区）が出場し、各都道府県の予選を勝ち抜いてきた188人のトップに立った。

彩夏さんは小学1年生から全国大会に出場し続け、小学3年生の時には優勝を経験している。そんな輝かしい成績を残したが、その後の全国大会では思うように結果が残せず悔し涙を流してきた。中学1年生時の全国大会ではベストの状態で挑んだものの第3位の結果に終わった。彩夏さんは「たくさん練習してきたのに全国では勝てなかった。優勝できなくてずっと悔しかった」と当時を振り返る。

彩夏さんが出場する「形の部」は見えない敵を仮想して演武する種目。今大会に向けて、技を繰り返し出すタイミングや精度、「極め」の動きに至るまで毎日試行錯誤を繰り返した。迎えた当日、予選を勝ち上がったってきた全国の強敵たちを前に不安が押し寄せる中、1戦1戦力を込め「観ている人が、相手がいると錯覚する



Pick Up Dreamer

常葉大学付属菊川中学校3年

高塚彩夏

Ayaka Takatsuka

世界一を目指す

ような形」を意識して試合に挑んだ。5年ぶりに全国トップの座に返り咲いた彩夏さん。「やっと優勝できた。本当にうれしい」と笑みをこぼした。

8月には全国中学生空手道選手権大会が待ち構えている。「2連覇を成し遂げたい」と気合い十分に話す。

世界を目指して

彩夏さんは、今大会で優勝したことによって日本代表チームの強化指定選手に選出された。日本代表選手を選手するための合宿や選考会に参加する権利を手に入れたのだ。

自身の強みを「極めの強さ」と話す彩夏さん。日の丸の付いた道着を身にまとうため、東京五輪男子形の金メダリスト喜友名諒選手の極めの強さやスピードを目標に練習を重ねている。「まずは世界大会に出場したい。そして世界一になりたい」と語る瞳の奥には熱い気持ちのぞいて見える。

努力が実を結ばなかった5年を乗り越え、再び日本一となった彩夏さんなら、世界一という大きな夢も叶えることができるだろう。